

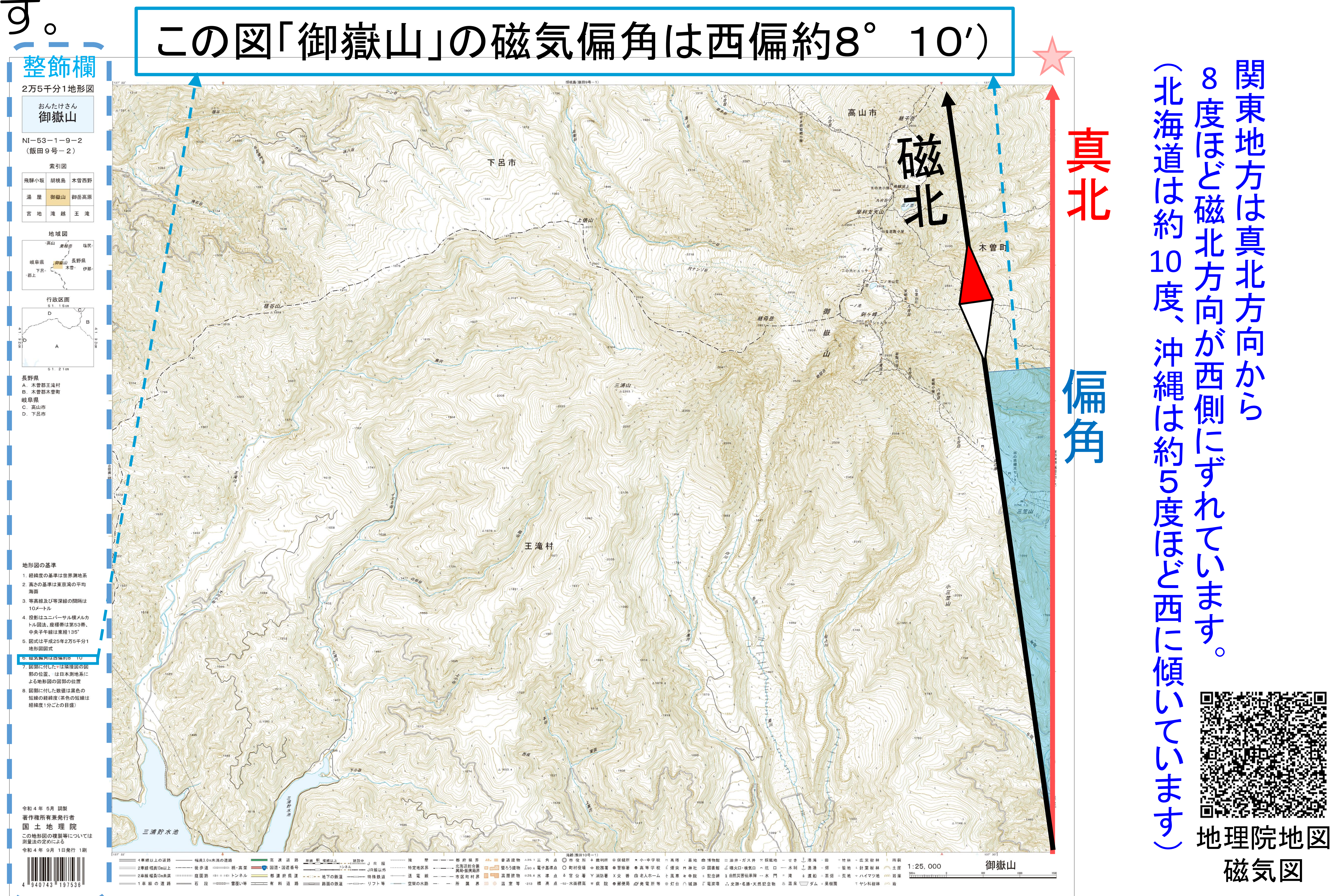
基礎からわかる2万5千分1地形図(1)

○3色刷りから多色刷りへ

- 2013年(平成25年)11月から、多色刷りの新たな地形図で刊行を開始し、地形に陰影を付け立体感を表現しています。
また、建物や道路はより詳細にし、建物は橙色、国道は赤色、都道府県道は黄色と多彩な色で地物を表現しています。

○地形図の方位（^{しんぽく}真北と^{じほく}磁北）

- 地形図は上方が「北」ですが、図の経線(左右の図郭線など)の指す北を「真北」といいます。一方、磁石が指す北は「磁北」といい、真北と磁北の「北」は一致しません。
 - 真北から磁北の傾きを偏角へんかくといいますが、偏角は場所により異なるため、地形図の整飾欄せいしよくらんに「磁気偏角じきへんかく」を表示しています。
 - 国内では磁気コンパスの北から時計回りの方向に真北があります。
- この図「御嶽山の磁気偏角は西偏約 8° 、 10° 」



スマホで見る地理院地図などのweb地図も地形図などの紙地図でも、地図の向きをその場所の東西南北に合わせてから現地と地図を見比べれば、迷わずに目的地に行けるよ！